まちの話題

4講座に680人 第2回 市民大学講座

八月二十三日から九月五日にかけて、市立中央公民館と保健福祉センター香北で市民大学講座が開講され、全四講座に六百八十人が聴講に訪れました。

今年は、石毛宏典さん（四国アイランドリーグコミッショナー）、村松真貴子さん（アナウンサー・エッセイスト）、仲島正教さん（教育サポーター）、養老孟司さん（東京大学名誉教授）を講師に招き、多彩な内容の講演が催されましたが、中でも解剖学者でその著書がベストセラーとなった養老さんの講演には、市内外から多くの人が訪れ、会場はほぼ満席となるほどの人気でした。

養老孟司さん
（9月5日、市立中央公民館）

給食の廃油から石けんづくり ～大宮小学校～

給食で使った廃油から石けんをつくる取り組みが、九月六日、大宮小で行われました。

石けんづくりは、同校の保健・給食委員の児童の発案によるもので、当日は、同委員の五、六年生十一人に香北町婦人会が協力して取り組みました。

実際に使用するには、一カ月ほど乾燥させる必要がありますが、この日つくった〝環境にやさしい〟石けんは、十一月の親子体験学習の発表会で販売される予定で、児童らも出来上がるのを楽しみにしていました。

材料をかきまぜて石けんづくり

スポ少の児童がキャンプ場を清掃

九月一日、香美市スポーツ少年団物部ソフトボールクラブの児童や保護者ら十三人が物部町押谷の佐岡キャンプ場を清掃しました。

同クラブは、スポーツを通じて心身の健全育成を図るとともに、ボランティア活動にも取り組んでおり、清掃活動がその一環として行われました。一見きれいに見える川原には、流れ着いた土木資材やビニール類のほか、キャンプ場の利用者が残したと思われる缶、ビンなども見つかりました。参加した児童は、予想以上のごみの量に驚きながらも、熱心にキャンプ場を清掃し、軽四トラック一台分のごみを収集しました。

すみずみまでごみを収集

笑い！健康！歌！踊り！ 老人大学を満喫

第二回香美市老人大学（市社会福祉協議会・市老人クラブ連合会主催）が九月六日、奥物部ふれあいプラザで開催され、約三百二十人が参加しました。

土佐民話の会の市原麟一郎さんによる「土佐弁おもしろ民話」、市保健師の指導による「香美はつらつ体操」、老人クラブの有志による「芸能発表」のほか、大栃保育園児のダンスや歌の披露もあり、参加者は充実した講座を満喫していました。

320人が参加した老人大学

図書館まつりに小学生ら80人が参加

夢中になってお話を聞く子どもたち

子どもたちに、本とふれあい、図書館に親しんでもらおうと、『図書館まつり』が八月十八日に市立図書館で開催され、小学生とその保護者ら約八十人が参加しました。

子どもたちは、「山田おはなしの会」による紙芝居や本の読み聞かせなどが始まると、本の世界に夢中になって、お話に聞き入っていました。

◆防災ニュース◆ 物部町で第一号の自主防災組織が結成されました!!

八月二十七日、大栃地区大北組から自主防災組織結成届が防災対策課に提出され、物部町内では第一号となる自主防災組織が立ち上がりました。今後、大北組防災会では防災マップ作成、資機材整備、防災訓練などに取り組む予定です。

物部町で自主防災組織が立ち上がったことにより、香美市の三町（土佐山田町・香北町・物部町）すべてで自主防災組織が設立されました。

防災対策課では、引き続き説明会を開催して、香美市全域で自主防災組織が設立されるよう取り組んでいきます。まだ自主防災組織が設立されていない地域の皆さん、自主防災組織を立ち上げましょう。

大北組の自主防災組織設立説明会

市内17の自主防災組織が一斉避難訓練を実施

「南海地震が発生し、市内各地で家屋の倒壊・火災などの被害が発生している」という想定で、九月二日、市内十七の自主防災組織が一斉に避難訓練を実施しました。

地域防災力の向上・防災意識の高揚を目的に『自主防災組織みんなで避難訓練』と題して行われた訓練には、総勢約七百人が参加し、それぞれの地域で避難訓練などが行われました。

初めて避難訓練を実施した自主防災組織の参加者からは、「自治会の総会よりも人が集まっていて驚いた。こういった訓練はやらないかん」という声もあがっていました。また、過去に訓練をしていた組織では、前回の避難訓練と比較するアンケート調査も実施されていました。

日ごろからの防災訓練（消火訓練、避難訓練、救急救命訓練等）や減災(※)意識を高めることが、いざというときの災害時の活動に生かされます。

1年に1回は、防災訓練を行い、南海地震などの大規模な災害にみんなで備えましょう！

※減災…災害時に発生する被害を最小化するための取り組み。みんなで取り組むことで大きな効果が期待できます。

【問い合わせ先】
防災対策課 ☎53－1061

半生を共に　金婚式　おめでとうございます

結婚して五十周年の金婚夫婦を祝福する『第五十回金婚式』（高知新聞社主催）が九月一日、県内六会場で開催され、約八百組が祝福されました。

このうち南国会場のグレース浜すしには香美市、香南市、南国市から約百二十組のご夫婦が出席しました。

式典では、この五十年をつづったビデオ（高知新聞社制作）が上映されました。

出席したご夫婦は、苦楽を共に過ごした日々を思い起こしながら、感慨深げに鑑賞していました。

また、アトラクションとして韮生太鼓の演奏が行われ、勇壮な太鼓の響きが、祝福ムードを一段と盛り上げていました。

最後に出席者を代表して公文寛伸さん、猶美さんご夫婦（物部町）が謝辞を述べ、「金婚式はゴールではなくスタートです。これからも元気に、夢と希望を持って次は百歳をめざして頑張りましょう」と呼びかけました。

今年、香美市で金婚式を迎えられたご夫婦は次の三十三組の方々です。

（敬称略）

〔香北町〕
川田博一・麗子
上野隆男・智子
前田静一・千枝子
甲藤忠男・繁子

謝辞を述べる公文さんご夫婦

〔物部町〕
近藤計一・豊子
篠崎敏雄・昭子
公文寛伸・猶美

〔土佐山田町〕
石川秀一・真喜子
岡崎光男・ツタエ
岡林寅太郎・巴津
尾立延寿・芳子
中村源正・久子
田村泰清・千代
中越正男・明子
松本新太郎・富子
山崎　裕・永子
杉村要次郎・芳美
山崎和孝・幸子
山崎末利・和子
小原道貫・比佐子
谷合龍雄・多鶴
柴田達男・菊美
岡崎泰昌・静江
宮田隆雄・恵子
依光　昇・米寿
田中　実・美香子
北窪秀男・美栄
正木豊憲・房子
石川　明・豊
河端順一・佐代子
小松　進・光枝
佐藤幹雄・松子
松岡顕秀・留子